

《報告》

下関市吉母および蓋井島のタカラガイの記録

久志本鉄平

下関市立しものせき水族館 〒750-0036 下関市あるかぼーと6番1号

はじめに

タカラガイ類は熱帯から亜熱帯が分布の中心であり、山口県では近年北長門を中心に新たな記載が増え現在25種の記録がある(Hosaka *et al.*, 1997)。また、これまでに吉母地域では10種の記録があるが(河本, 1964)、近年まとまった報告はない。タカラガイ類の種組成を把握しておくことは今後の下関沿岸の海洋環境を把握するために有用であると考えられる。今回、山口県下関市の吉母およびその沖合に位置する蓋井島において、2009年1月から2011年12月の期間に打ち上げ漂着したタカラガイ類を調査し採集したその記録を報告する。

調査地点・材料

調査地点は、吉母(下関市大字吉母、岩礁地帯と礫からなる全長800m)と蓋井島(下関市蓋井島の鏡井湾に面する岩礁地帯と礫からなる海岸全長300m)(図1)とした。2009年1月から2011年12月の期間に調査地点において合計24回の調査を実施した。調査では海岸に打ち上げられたタカラガイ科全てを採集し、(波部ら, 1967)、(奥谷, 2000)を参考に種同定を行ない、個体数、出現頻度を調べた。

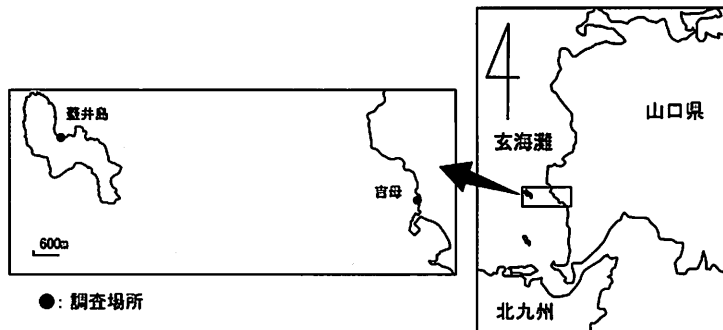


図1 吉母および蓋井島における調査地点

結果と考察

調査で17種(図2)を同定し総数は9692個体を記録した(表1)。調査地点吉母では18回の調査で17種8475個体を記録した。個体数ではメダカラ7549個体(89.1%)、チャイロキヌタ621個体(7.3%)の順に多く、2種の合計は全体の95%を超えた。その他では、ハナマルユキ97個体(1.1%)、カモンダカラ42個体(0.5%)、ホシキヌタ36個体(0.42%)の順に多く記録された。出現頻度では18回の調査全てで、メダカラ、チャイロキヌタ、ハナマルユキが記録され、出現回数15回(出現頻度83.3%)でホシキヌタ、カモンダカラが記録された。一方、アヤマダカラは1回、ヒメホシダカラ、ハナビラダカラは2回の記録しかなく、稀にしか見られない種といえる。

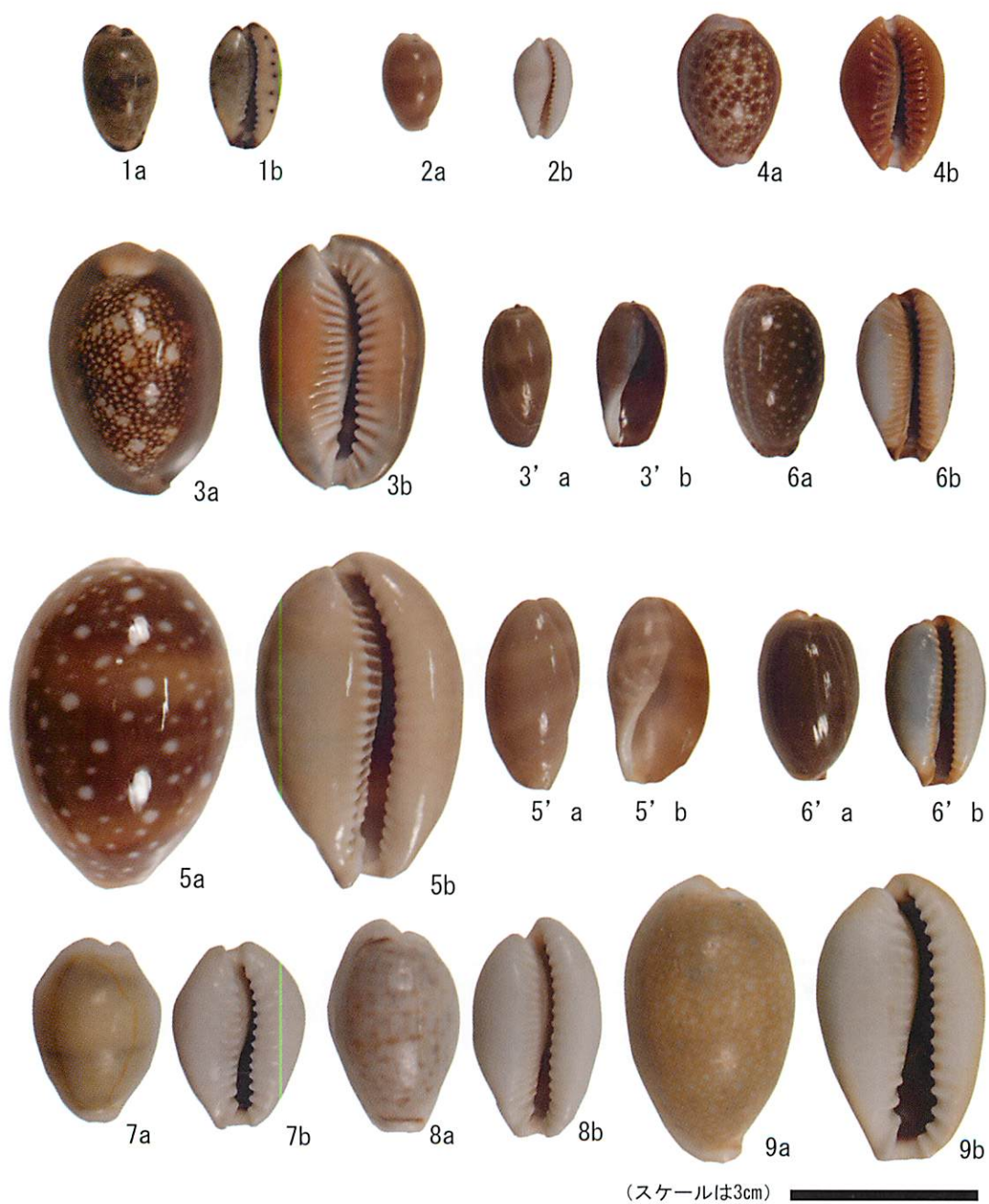
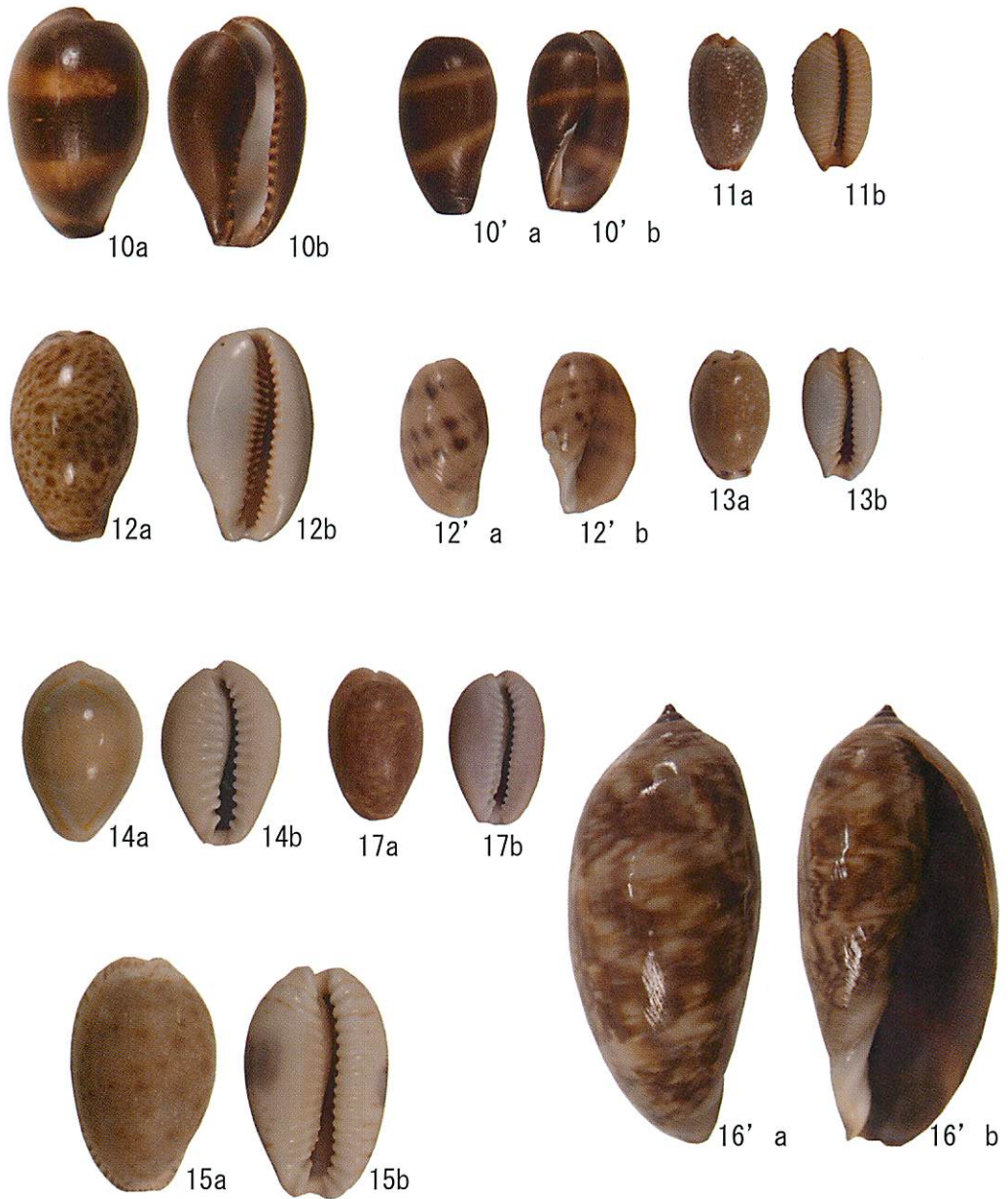


図2 吉母および蓋井島で採集したタカラガイ(1)

1, メダカラ; 2, チャイロキヌタ; 3, ハナマルユキ; 3', ハナマルユキ幼貝; 4, カモンダカラ; 5, ホシキヌタ; 5', ホシキヌタ幼貝; 6, シボリダカラ; 6', シボリダカラ幼貝; 7, キイロダカラ; 8, オミナエシダカラ; 9, ハツユキダカラ*(a 背面, b 腹側)



(スケールは3cm)

図2 吉母および蓋井島で採集したタカラガイ (2)

10, クチグロキヌタ ; 10' , クチグロキヌタ幼貝 ; 11, サメダカラ ; 12, ヒメホシダカラ ; 12' ヒメホシダカラ幼貝 ; 13, ナシジダカラ ; 14, ハナビラダカラ ; 15, コモンダカラ ; 16' , ヤクシマダカラ幼貝 ; 17, アヤマダカラ *(a 背面, b 腹側)

下関市吉母および蓋井島のタカラガイの記録

調査地点蓋井島では6回の調査で16種1,217個体を記録した。個体数ではメダカラ940個体(77.2%)、チャイロキヌタ98個体(8.1%)、ホシキヌタ71個体(5.8%)、ハナマルユキ53個体(4.4%)の順に多く記録され、吉母と同様の結果となった。また、出現頻度では6回の調査全てで、メダカラ、チャイロキヌタ、ハナマルユキ、ホシキヌタが記録され、次いで出現回数5回(83.3%)でカモンダカラが記録された。また、ナシジダカラ、コモンダカラ、ヤクシマダカラ、アヤマダカラは個体数各1個体のみで、稀にしか見られない種といえる。

吉母では1964年8月に河本(1964)によって10種が記録されているが、今回新たに7種(オミナエシダカラ、ハツユキダカラ、サメダカラ、ヒメホシダカラ、ナシジダカラ、ヤクシマダカラ、アヤマダカラ)を追加記録した。また、全調査で2度の記録しかない、ヒメホシダカラ、アヤマダカラや、幼貝での記録しかないヤクシマダカラをはじめ、いくつかの種では幼生時期の海流や成育時の水温条件などの影響により偶発的に記録されたと考えられ、長期的な環境の把握をするため、今後も引き続き調査を行う必要がある。

引用文献

Hosaka, K., Irie, T. and Sugimura, T. (1997) The family Cypracidae (Caenogastropoda) of Yamaguchi Prefecture, western Japan. *The Yuriryagai*, 5 (1/2): 127-183.

河本卓介(1964)下関吉見地区の貝類,山口県の自然,(12): 22-31.

奥谷喬司編(2000)日本近海産貝類図鑑,1173pp. 東海大学出版

渡部忠重・小菅貞男(1967)標準原色図鑑全集(3): 51-57.保育社